



温もりで結ばれる厚別区、北海道に

見て、聴いて、走って、応える！

「温もりのある道政を実現したい」と、地域の声に丹念に耳を傾け、道政の懸け橋として奔走しているのが花崎勝道議です。1期目の後期は保健福祉常任委員会、少子・高齢社会対策特別委員会に所属することになりました。「私のテーマであり、やりがいのある分野です」と張り切り、積極的に課題に向き合う考えです。

北海道議会議員

はなさき勝さん

北海道議会議員 花崎 勝
今後とも皆さまの変わらぬご支援をお願い致します。

北海道議会議員 花崎 勝

しかし、北海道にはその効果がまだ実感として伝わっていません。地方が元気にならなければ、日本の再生はありません。私は高橋知事とともに、活力である北海道と厚別区を築き上げるため全力で国政に働きかけます。

さて、1期目後期は保健福祉常任委員会、少子・高齢社会対策特別委員会と議会運営委員会に所属することになりました。もとより福祉問題は私のテーマの一つであり、これまで「みんなが支え合い、安心して住み続けられる地域」の実現を目指して活動してきました。8月の常任委員会では在宅医療問題などを質問しましたが、これからも課題をどしどし取り上げ、解決の方途を探っていきます。



全力投入

保健福祉分野でも

平素より、皆さまには温かいご指導や励ましの言葉を頂き、厚くお礼申し上げます。

自民党は昨年12月の総選挙、今夏の参院選と圧勝し、衆参のねじれを解消して、ようやく「決められる政治」を実現できる体制が整いました。すでに安倍政権の「三本の矢」を中心とした経済政策で、日本経済には回復の兆しを見せています。

さて、1期目後期は保健福祉常任委員会、少子・高齢社会対策特別委員会と議会運営委員会に所属することになりました。もとより福祉問題は私のテーマの一つであります。



花崎 勝 道議のプロフィル

- ◆昭和28年8月9日生まれ
- ◆札幌市豊平区美園小学校、陵陽中学校を経て、昭和47年3月、北海高校卒業後、株式会社ワコール入社
- ◆平成21年から衆議院議員町村信孝氏の組織局長として活躍
- ◆現在
道議会関係 保健福祉常任委員会理事、少子・高齢社会対策特別委員会理事、議会運営委員会委員

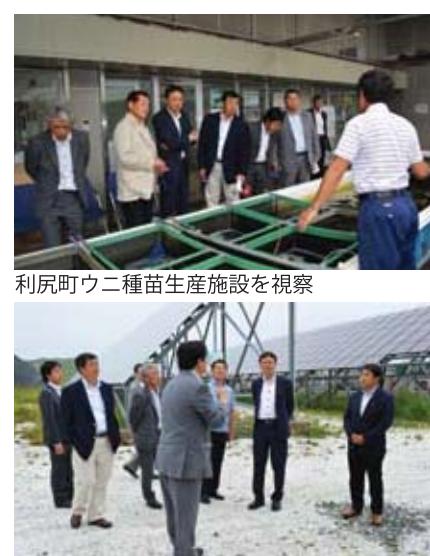
はなさき勝事務所

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条5丁目8-20
電話011(890)7055 Fax 011(890)7066

各勉強会には積極的に参加



幌延深地層研究センターを視察



利尻町ウニ種苗生産施設を視察



稚内メガソーラー発電所を視察



21圏域に在宅医療で協議会を設置 花崎道議が道地域医療計画で質問

地域医療

道は、医師不足や医療体制の改善に向けて、25年度から3カ年で実施する「北海道地域医療計画」を明らかにしました。

本道では急速に少子高齢化が進行し、医師や看護師などの不足や地域偏在で、地域医療は深刻な状況です。このため医師確保対策の一層の推進、災害時対応を含めた在宅医療の充実など医療提供体制の整備が求められています。道では改善に向けて、国の地域医療再生臨時特例交付金事業を活用し、総額10億円を①医師確保②在宅医療③災害時医療への3分野を推進します。

また、医師確保対策分野では医大生への修学資金の貸し付けの拡大、地域医療指導医派遣システム推進事業の継続などを行います。

花崎勝道議は8月6日の道議会保健福祉委員会で同計画を取り上げ、「今後どのように地域医療再生に取り組むのか」と質問しました。これに対し、高田保健福祉部長は「道民誰もが住み慣れた地域で、安全・安全に暮らし続けることができるよう、地域医療の充実に積極的に取り組む」と答えました。

むし歯対策

歯・口腔の健康づくりで質問 12歳児のむし歯は24年で1・5本

花崎勝道議は8月6日の道議会保健福祉委員会で、歯・口腔の健康づくりに係る施策の進捗状況について質問しました。

(1) むし歯の本数について

花崎議員 12歳児は永久歯が生えそろうが、直近5年間のむし歯本数の状況を伺う。

江上地域保健課長 国の学校保健統計調査によると、本道の12歳児の1人当たりのむし歯本数は、平成20年が2・2本、21年が2・0本、22年が2・3本、23年が1・8本、24年が1・5本となっています。

(2) フッ化物洗口の実施状況について

花崎議員 フッ化物洗口の十分な効果を得るために、保育所・幼稚園から中学校卒業まで継続して実施する必要がある。実施市町村と市町村内でのすべての保育所・幼稚園、小・中学校で実施して

します。このうち在宅医療分野では、2次医療圏(全道21圏域)ごとに保健・医療・福祉の専門家で構成する協議会を設置して、日常の療養支援から急変時の対応、看取りまで課題の解決を探ります。

江上地域保健課長 実施している144市町村の施設類型別内訳は、保育所・幼稚園で133市町村、小学校で76市町村、中学校で20市町村、すべてで実施しているのは12町村となっている。いる市町村数を伺う。

(3) 今後の取り組みについて

花崎議員 「北海道歯科保健医療推進計画」は本年4月から2期目に入っている。歯科保健医療

対策の推進に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

高田保健福祉部長 フッ化物洗口の推進、認知症高齢者や障がい者への対応などを、重点施策として積極的に推進する。全ての道民が住み慣れた地域で、生涯を通じて必要な歯科保健サービスを受けることができるよう、歯・口腔の健康づくりに総合的に取り組む。

第2回定例道議会

北原道議が道政上課題など質問 クール北海道などで見解求める

平成25年第2回定例道議会が6月18日召集され、7月5日まで18日間の日程で、総額93億1700万円の一般会計補正予算案などを審議しました。自民党・道民会議は6月21日の本会議で北原秀一郎道議(紋別市)が一般質問(代表格)を行い、高橋はるみ知事や立川宏教育長らの見解を求めました。

北原道議の質問項目は次の通りです。

I・道政上の諸課題について

- (1) 国の成長戦略について
- (2) クール北海道の推進について
- (3) 科学技術の振興について
- (4) ものづくり産業について
- (5) TPP協定について
- (6) 矢臼別演習場における実弾射撃訓練について

- (2) BSE対策について
- (21) 農林水産業の6次化について
- (22) 磯焼け対策について
- (23) 参議院議員通常選挙に向けた取り組みについて

II・教育問題について

- (1) 学力・体力向上運動について
- (2) 国旗・国歌について



予算特別委員長として議事を取仕切る